

『青山学院 近現代史研究』の創刊にあたり

青山学院史研究所長 小林 和幸

本研究所は、青山学院資料センターに設置された「青山学院一五〇年史編纂室」を基盤に、二〇二一年四月、青山学院大学附置青山学院史研究所として発足しました。

本研究所は、青山学院が収集・所蔵する歴史資料を分析・検討し、近代日本社会において、青山学院が果たした歴史的役割を広く研究することにより、ひいては近代日本へのキリスト教文化の影響を考察し、教育史、思想史、近現代史の発展に寄与することを目指します。あわせて、本学院の建学の精神と歴史的な位置付けを客観的に明らかにし、青山学院大学ならびに学院設置諸学校における自校史教育の展開支援と高度化を担うことを目的としています。研究所発足に伴い、これまで学院史関係資料を中心に掲載してきました『青山学院一五〇年史編纂報告』を改称し、学院史関係資料のみならず研究論文等を掲載する『青山学院 近現代史研究』として創刊することといたしました。

本創刊号では、所員の研究論文三本と学院史関係資料を掲載しています。いずれも青山学院の歴史を究明したものです。が、いささかなりとも日本近現代史研究の進展に寄与することができればと思います。

研究所では、来年度の『青山学院一五〇年史』通史編Ⅰの刊行に向けての執筆を進めると共に、二〇二一年一月二七日には、青山学院史研究所開設記念シンポジウム「学校史・大学史研究の可能性」を開催いたしました。本シンポジウムでは、学校史の研究を進め、年史の編纂事業を行っている大学の担当者の方々に依頼し、各大学の学校史研

究や年史編纂の現状をお話したくと共に質疑応答を行い、歴史研究や教育に如何に貢献し得るかということ等につき議論を深めることができました。ご登壇くださった先生方、参加者の皆さま、関係各位に感謝申し上げます。シンポジウムの成果は、今後の青山学院史の研究に活かしてまいりたいと思います。

今後とも、青山学院の歴史を実証的に研究すると共に、充実した自校史教育を行うため、大学附置の研究・教育組織としての任務を果たしてまいりたいと思います。

ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

二〇二二年二月二五日